

金山町 議会だより

第220号

令和5年1月26日

発行 金山町議会

編集 議会だより編集特別委員会

〒968-0011

福島県大沼郡金山町大字川口字谷地393

☎0241-54-5341

〔12月定例会 会期12月9日～13日〕

- ・議長新年のあいさつ 2
- ・補正予算議案審議等 3
- ・一般質問に7人登壇 4～10
- ・要望活動 11～13

「沼沢火山」内輪山の山
前山より磐梯山(標高1,816m)を望む



金山町議会議員集合写真(左手前：五ノ井議長、右手前：黒川副議長)

新年を迎えて

町民の皆様には、日頃から、町議会に對しましてご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。1月末を迎え、遅れ馳せながらではありますが、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

新型コロナウイルス感染症については、ワクチン予防接種の複数回接種により感染者は軽症や無症状で済む方も多いと聞いております。しかし、終息には未だ期間を要するものであり、町民の安全・安心な生活と町内経済活動の安定維持の継続のため、町に對しての要望活動、事業の実現に向け積極的に取り組んで参ります。

昨年10月にJR只見線、会津川口駅―只見駅間が再開通となりました。マスコミ報道等により只見線の魅力が県内外に発信され多くの方が奥会津を訪れました。これからが重要です。関係人口・交流人口を奥会津地域に呼び込み宿泊施設、観光施設などが潤うよう官民一体となり進めていかなければなりません。

当町は人口減少、高齢化が進行し少子化率、高齢化率とも県内でワーストです。しかしどうでしょうか、住んでいる町民は健康で楽しく暮らしていませんか。町の総合計画のキャッチフレーズは「自然の恵みと笑顔あふれるかねやま」思いやり支えあいのまち」です。笑顔で、自然を愛し、健康で生きがいのある生活で明るい一年にしていきましょう。

最後になりますが、我々議員8名は、皆さまの代表として議員活動を行っております。議会も「開かれた議会」を目指しておりますので、町民の皆様からのご意見・ご要望をお聞かせ頂ければと考えております。年4回の定例会へも足を運んでいただきたいと思ひます。議員8名、力を結集して町の課題解決のため、全力で邁進してまいります。これからの1年間宜しくお願いいたします。

(金山町議会議長 五ノ井義二)

12月定例会

12月定例会は、12月9日から13日にかけて開催され、一般会計補正予算、条例の制定など12議案が提案され原案の通り可決されました。一般質問は、7人の議員により行われました。

●補正予算（議案審議）

一般会計・歳出

地域おこし協力隊経費

問 協力隊経費890万円の減額。原因は。対策は。

答 企画課長 当初予定より3名の採用ができなかった分の減額です。新型コロナウイルス関係で対面での募集活動の機会がなかったためと考えており、次年度に向けては年明けから募集活動を行うていく考えです。

高齢者等除雪経費補助事業について

問 金山町社会福祉協議会補助金260万円。除雪回数の上限の変更は。

問 令和5年度以降の継続の考えは。

答 保健福祉課長 今回補正分は国の補助事業で1月から給付開始予定の情報により計上したものです。次年度についての情報はまだ入っていません。

物価高騰対策商工業者支援事業補助金について

問 補助金260万円の減額。理由は。

答 商工観光課長 予算は120件分で実績は68件でした。商工会や町担当者が申請についての確認を行いました。補助金未申請の事業者が多く減額となりました。

介護保険特別会計・歳出

配食サービス事業について

問 34万円の増額。利用者数は。

答 保健福祉課長 38名の方に利用いただいています。

妊娠・出産支援交付金について

問 妊娠・出産支援交付金60万円。いつの時点で支援するのか。

答 保健福祉課長 令和4年4月1日が基準日となります。

■議案等審議結果一覧（一部を掲載しました。）

※議長は、採決に加わりません（賛否が同数の場合には議長が採決します）
※賛成「○」 反対「×」

件 名	議決結果	安藤雅朗	坂内譲	加藤夕子	栗城康太郎	横田正敏	奥高伸	黒川廣志	五ノ井義一
■第8回定例会（12月定例会） 令和4年12月9日～13日開催									
議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正について（期末手当3.0月→3.05月）	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長は採決には加わりません
金山町長等の給与及びその他の給付に関する条例の一部改正について（特別職（町長・副町長・教育長）の期末手当3.0月→3.05月）	可決	○	○	○	○	○	○	○	
職員の給付に関する条例及び金山町一般職員の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	
金山町定住促進住宅条例の一部改正について（上横田地区に2戸整備）	可決	○	○	○	○	○	○	○	
令和4度金山町一般会計補正予算（第5号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	
令和4度金山町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	
令和4年度金山町介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	



移住希望者獲得を目指しての
町主催、町内での移住体験ツアー
(令和5年1月14日、玉梨地内 歳の神見学)

栗城康太郎議員の 一般質問



第五次総合計画を実現するため、過去の反省を踏まえ、2期目の町政で、どのように具体化していくか伺う

4つの重点プロジェクトを進めるー町長

総合計画の重点課題の4つの重点プロジェクトについて考えを伺う。

問① 産業振興と雇用拡大プロジェクトについて「特色を活かした産業づくり」で育成すべき後継者をどのように確保するのか。

答 町長 農業では、赤カボチャやエゴマなどのブランド力を上げ、水稲栽培などと併せた複合経営による農家所得の向上

を目指し、魅力ある就業モデルをつくり後継者確保を図っていきます。

自然豊かな観光資源の活用では観光客数及び滞在期間を増やし、観光関連の雇用確保のため、観光施設やイベントを魅力あるものとし、情報発信に力を入れていきます。

既存企業への支援では、「奥会津かねやま福業協同組合」からの派遣により、企業経営が継続できる体制を整えており、現在、派遣職員として従事している方が、町内での新規起業や事業所への通年雇用に結びつき、町内産業の後継者となつて頂くことを目指していきます。

問② 移住・定住・交流プロジェクトについて 若者子育て世代が「住んでみたくなる」「戻ってきたくなる」「住み続けたくなる」「町とはどのような町なのか。

答 町長 自然豊かで子育て環境が充実していることが、住みたい町の必須条件であると考えます。

また、移住・定住に関する経済的支援も移住促進の必須条件と捉えています。町で生活するためには、仕事場の確保も重要です。町内では「奥会津かねやま福業協同組合」など、先進的な取組みも始まっていますので、各種施策と連携して仕事場の確保に努めて参ります。

問 移住のための引越し補助、一定期間の家賃補助を追加するなど補助内容の整理の考えはないか。

答 町長 現在の支援制度で十分であるとは思っていない。一つの手法として考えていきたい。

問③ みんなで子育て応援プロジェクトについて「奥会津金山学びの18年」による若者流出の歯止め

の効果と継続・改善について。

答 町長 この10年間に、就職・結婚した者、大学を出て戻ってきた若者、移住し子育てしている親等、少ないながらも定住の実績があることから、一定の効果はあったと考えます。

次に、事業の継続・改善については「地域一体型ふるさと教育事業推進委員会」で、毎年の反省・計画策定を実施しております。学校、委員の方々から意見をお聞きし、十分検討して頂き、より良い事業になるよう努めているところであります。

問④ 健康づくりと支えあいプロジェクトについて

少子・高齢化の進行と人口減少による地域自治機能の低下を、どのようにして維持・強化しようとしていくのか。

答 町長 特に集落内除

雪や集落維持活動が難しくなってきたおり、とりわけ高齢者世帯等の除雪には更なる対策の強化が必要と感じ、今年の冬から除雪支援員の配置や経済的支援の充実に取組みたいと考えております。

また、集落維持活動については、それぞれの地区において生活圏を維持するため、水路や生活に必要な道路等の共同作業を行って頂いております。新年度からは、共同作業の際の人的不足について重機等を活用することで、その一部を補って頂きそれに要する経費の一定程度を町で支援をして参りたいと考えております。高齢化が進む中で、地域自治機能を維持することは大変なことではあります。地区でも相談して頂きながら、「支えあい」や「思いやり」のある地域づくりに繋げて頂きたいと考えています。



山形県戸沢村立戸沢学園(義務教育学校)
視察で学校統合について意見交換をしました
(令和4年7月6日実施)



坂内議員の

一般質問

義務教育の再構築が必要なのでは

小学校統合慎重に進めていきたい — 教育長

問① 周辺町村では一番早く「奥会津金山学びの18年」として、町内の子どもに対しての多くの支援をしてきました。このことを含め金山町の教育に関する自己評価を伺う。

答 教育長 評価については、「教育委員会点検評価報告書」の形で報告し毎年、町内の児童生徒に、対し、高校生を含め、多くの支援をして参りました。

問② 学校運営に対して、このまま児童・生徒が少なくなままでも維持し

た。この根拠は、「金山町少子化対策推進条例」の第10条によるもので、目的を十分に達成していると考えます。このような取組みは、他町村には無いもので、町で児童生徒を育てている家庭は、大変恵まれており、大いに評価されるべきものと思っています。

答 教育長 平成18年10月に「金山町教育施設適正配置等委員会」からの答申を受け、中学校は、平成21年4月に統合し「金山中学校」を開校しました。答申では、小学校についても「中学校統合後速やかに行うこと」となっておりましたが、その後、地域住民の理解が得られないことや地域のこ

ミユニティーの中心を失ってしまうということから、小学校の統合は見送られ今日に至っております。今までは、当時の考え方を踏襲し、地域コミュニティづくりの中心としての役割を重視しながら、小規模校の良さを生かし、地域に支えられ、また、地域に発信する学校として存続してきました。

しかしながら、中学校統合から14年が経過し、状況も大きく変化してきました。児童生徒数は、この10年間で半数ほどに減り今後、大幅な増加は見込めません。また、保護者の中からは、子供の将来を心配する声も聞かれています。

学校環境の整備については、保護者、地域住民の意見を十分に聞きながら、慎重に進めていきたいと考えております。

Wifiの環境整備について

令和5年度から整備する — 町長

問 只見線の再開通を機に、多くの観光客においていただいております。今後の観光面での利活用にはフリーWifiの取組みは大変重要で最大限活用していくことが大事である。Wifi導入に伴うメリットやそれに伴う事業は想定しているか

同。

答 町長 環境整備事業は、令和5年度から取組みたいと考えています。町内の居住地域や観光地を中心に、Wifiが使用できる通信環境を整えたい。町内各所に基地局を設置することになるため、既存の防災無線屋

外子局に設置するなど、効率的な整備により、令和5年度中の完成を目指したい。

この整備により町民の方、当町を訪れる観光客の皆様の通信環境の向上が見込まれ、通信環境にかかる経済的負担の軽減、情報伝達手段の多種多様

化や新たな行政サービスの展開による住民生活の利便性の向上も期待されまた、高齢者の見守りや自治体情報の発信、在宅学習など、様々な行政サービスへの活用が考えられます。一方で、それに伴う財政負担も十分考慮しなければなりません。



J R只見線全線再開通に向け、町民有志で制作した
ショートムービー「あいせき列車只見線」の
制作スタッフ(ほとんどが町内の方です)

安藤雅朗議員の 一般質問



義務教育課程における教育改革について

新学習指導要領の趣旨をいかしている ― 教育長

令和2年学習指導要領

が改定され、学校で身に
付けるべき力を「生きる
力」と表現し、それは「こ
れからの社会が、どんな
に変化して予測困難にな
っても、自ら課題を見つ
け、自ら学び、自ら考え、
判断して行動し、それぞ
れに思い描く幸せを実現
する力、明るい未来を、
共に創っていく力。」で
あるとうたっている。以
下金山町の教育について

質問する。

問① 金山町の教育目標

に込めた思いについて

答 教育長 教育目標は

「郷土を担う心豊かな人
間の育成」です。「郷土を
担う」には金山を愛し誇
りを持ち、金山の文化伝
統を次の時代に引き継い
でほしいという願いが込
められています。「心豊
かな」には金山の大自然
のように、大らかで人に
優しい人間性豊かな人に
なっていきたいという願
いが込められています。

問② ICT機器の導入

整備等教育改革が行われ
ているが、今後の課題と
それに対する取組みにつ

て

二つ目は、情報モラル

安藤議員からは、この
他に「学校統合について
の検討を」の質問があり
ました。

シテイプロモーションについて

必要な取組である ― 町長

問① シテイプロモーシ
ョンの意義と必要性をど
のように考えているか。

答 町長 シテイプロモ
ーションは、町などの自
治体が行う地域のイメー
ジを向上させるために行
う活動で、地域活性化の
ために行う広報や営業活
動のことと理解しており
ます。

その目的は、具体的に
は地域のイメージ向上、
移住・定住者の増加、交

流人口の増などがあり、
自治体を維持していく上
で必要な取組みであると
認識しています。

問② 近年シビックプラ
イド・郷土愛という言葉
が目立っている。町民
一人一人が「ジブンゴト」
としてシテイプロモーシ
ョンに関わることが重要
であると考えているが、町の
考えと取組みについて伺
う。

答 町長 シビックプラ
イドとは町や地域に対す
る町民の誇りであり、町
や地域に貢献する気持ち
が含まれていると理解し
ています。町民一人一人
が、当事者意識を持って
自発的にまちづくりに関
与することが重要です。

町内では、J R只見線
全線運転再開に向けて、
有志の団体がショートム
ービーやおもてなしの看
板作成、駅周辺の環境美
化などを実施されたほ
う。

か、町民一人一人が只見
線に手を振る運動を実施
するなど、J R只見線を
一つの象徴として地域貢
献活動が実施されまし
た。このことは、町民の
シビックプライドの意識
が高まっていることの表
れであり、町では、今後
も町内の有志の方々の活
動を支援していく考えで
ございます。

横田正敏議員の 一般質問

令和5年度当初予算編成について

効果的な予算の執行に心掛ける ― 町長

令和5年度の当初予算編成にあたっては、第五次総合計画の目標達成に向け重点プロジェクトへ予算を振り向けることが重要と考える。

問① JR只見線による観光客の誘客と観光振興の掘り起しを行うには、補助金や委託料等の予算を確保し運営している（一社）金山町観光物産協会の役割が非常に大きい。JR只見線の再開通、レ

ンタカー事業開始などあり観光需要が高まりをみせている中、協会の補強のための支援が必要と考えるが。また、JR只見線再開通後の振興や今後期待されるインバウンド誘致の施策について協会とどう連携し取組む考えか。

答 町長 金山町観光物産協会は、正職員4名、臨時職員1名により、町の観光事業の中心的な役割を担って頂いております。町の支援としては人的支援と財政的支援が考えられます。人的支援は、令和5年度に観光振興活動に従事してもらう地域おこし協力隊を募集し、採用後観光物産協会に派遣する計画です。財政的支援は、補助金の増額になります。まず、現在の状況今後の事業計画等について話を聞き、業務量や必要な人員等について協会の考え方を把握

したうえで追加支援が必要か判断していきたいと考えています。

協会では、数年前からコロナ禍後のインバウンド事業を見据え、民間企業と連携した実証事業を実施しています。その成果をもとに今後商品化していく段階に入りましたら、町も協力・連携し、誘客につなげることを目指していきます。

問② 財政調整基金額や各種目的基金額が多いほど、突発的な不測の事態に對して十分かつ迅速な対処ができる。しかし過度な積み増しは好ましくないと考えるが、基金の戦略的な運用についての考えを。

答 町長 現在16の基金がありそのほとんどは、特定の目的を持った基金です。将来の公共施設の更新や改修に備えた公共施設整備基金や長期間継続的に事業を進めるため設置した少子化対策推進基金などです。

財政調整基金は、年度間の財政調整のための基金で、残高は令和3年度末決算で13億4千万円程度です。積み立て規模の考え方は、町の財政力指数が0.24程度で、財政力は低く、国の動向が町の財政状況に大きく影響を及ぼすことから、特別会計を含めた予算規模に對する一定割合として概ね20%程度と考え10億円程度が目安となるものと捉えており、現状は、安定した財政運営状況であると感じております。

基金は今後も、長期間継続的に安定した住民サービスの提供が必要な事業等については、新たな基金を設置するなど住民福祉の向上に繋がるよう効果的な対応を図るとともに、将来を見据えた適切な基金運用に努めて参

りたいと考えております。

問③ 町民福祉向上のためには、職員の力が大きく、職員の定着率の向上が求められる。従来通りの職員採用の在り方でののか。「友人・知人からの紹介」というリファレンスがとれている状態で選考を始めることができる「リファラル採用」の実施の考えはないか。

答 町長 町職員の採用については、地方公務員法の規定に基づき、競争試験又は選考により実施しております。一方で、近年は人口減少等の背景もあり町内出身者の受験者数の減少が続く等、人材の確保に苦慮していることも事実であります。「リファラル採用」は、自治体の場合、法令に基づく職員採用が原則と考えておりますので、難しいものと考えます。



町観光の中心的役割を担う金山町観光物産協会職員
20代、30代の若い人が働いています





「人生100年時代に向けた会津地域の課題解決を
探るシンポジウム」(令和4年3月2日実施)

黒川廣志議員の 一般質問



会津地域自治体広域連携指針の取組み状況は

概ね計画通り進んでいる――町長

本年1月、県出先機関と13市町村で会津の全ての住民が健康で文化的な生活を目指してデジタル技術を積極的に活用し、住民サービスの充実、地域経済の活性化を図るため「人生100年時代会津地域問題解決連携推進会議」を結成、指針が策定され1年が経過する。デジタル化を目指す姿として、住民が「いちいち届け出に役場に行かず家

で済むようになった」「スマホで簡単なことは夜中でも役場に聞ける」「役場も住民に足を運んでくれるようになった」等の町民の声が届くようデジタル化を目指している。以下伺う。

問① 指針では「デジタル技術を活用し業務の効率化を図り、職員の働き方改革で住民サービスをより向上させる」としているが、町の進捗は。

答 町長 全職員を対象とした業務量調査やデジタル技術を活用した業務量の軽減調査において、情報共有や意見交換を行うことにより、DXの目的などを周知しております。

問② 町民サービス向上に向けた町役場の業務改善に向け町民・職員からの提言を積極的に取入れるべきかどうか。

答 町長 最終的に目指しているものが、住民サ

ービスの向上です。デジタル技術によるDX推進にとらわれず、アナログ的な手法も含め積極的に受け入れる考えです。この際の判断基準は、住民サービスの充実に繋がるかどうかだと考えます。

問③ 「住民参加型行政システムが重要」としているが、具体策は。

答 町長 DX推進により業務が効率化されたことで生まれた時間を、職員が直接住民と会う時間や、住民と共に考え行動する時間に充て、住民サービスの向上に繋げる」とと理解しております。具体策としては、「顔の見える行政」を目指し、積極的に住民の意見を聞く姿勢を持ち、デジタル化によって空いた時間で、住民サービスの質を高めていきたいと考えています。

デジタル技術をうまく活用できない町民への行政サービスは。

答 町長 マイナンバー取得促進や、窓口でのマイナポイント付与のお手伝いをさせて頂きました。本年度実施の高齢者向けスマートフォン教室などデジタル技術が苦手な方にも十分寄り添った対応を進めて参ります。

問⑤ 情報インフラ整備の具体策は。

答 町長 令和5年度にWiFi環境整備事業を計画しております。町内の居住地域全てでWiFiが利用できる環境にする予定です。

問⑥ 推進ロードマップ(計画図)での年度毎のスケジュールが示されている。進捗状況は。

答 町長 昨年度から転入届や固定資産課税台帳、要介護認定などの業務について、会津管内の自治体の人口規模ごとに

実証団体を決めて、それぞれの業務についての自治体間のシステムや手続き方法などの違いを洗い出し、システムを含め、手順の一本化による作業効率化を調査し、その結果を年度末に報告する予定となっています。9月時点で、概ね計画どおりに実証が行われていると報告を受けており、令和7年頃から、市町村間の共同事務や業務の標準・共通化を実施して行く計画です。

・自治体DX(デジタルトランスフォーメーション)とは・・・「住民サービスの向上のために、デジタル技術を活用して『県・市町村の再構築』を行い、地域経済の持続的かつ健全な発展と住民の幸福な生活の実現である」と定義。

加藤夕子議員の 一般質問



JR只見線再開通を経て

今後に必要な要望活動を行っていくー町長

全線再開通となった10月1日から2ヶ月が経過し、問題点も把握できた事と思います。川口駅通過問題や観光客が大勢列車にご乗車になられ、町民が乗れない。もしくは立ちっぱなしの乗車問題。全て予想通りの結果となっています。各所に申し入れし、その後どう行動されたのかお聞きします。また、降雪による運休が多すぎるとの声にはどう

対応していただけるのか。
町長 全線運転再開後は、多くの観光客の利用により、座席に座れない状態が続きました。観光客の中には、只見線の全区間乗車を目的に乗車される方も多く、通院などに利用される地元の方も座れない、観光客の方々も3時間以上座れないという状況でした。町でも様々な機会を捉え実情をJR東日本や福島県に伝え、新聞を始め各種メデ

イアでも現状を取り上げて頂きました。JR東日本でも現状を把握され、また、改善を求める多くの声があつたことから、一部列車の延長運転や臨時列車の運転に繋がったものと考えております。また11月下旬には、福島県鉄道活性化協議会において、只見線の活用や利用者の利便性向上のための運行時刻見直しなどの要望活動を、JR東日本本社及び関係本部・支社

に対して実施致しました。今後も、沿線市町村や関係団体と連携し、必要な要望活動を行って参ります。

次に、降雪による列車運休があるケースとして、線路等の凍結、倒木、列車が雪を抱え込むことによる運行不能、多量の降雪による除排雪作業、雪崩やその危険性等が考えられると思います。冬期間でもダイヤ通りに列車が運行されることを希望



町立小中学校について

学校環境整備を検討するー教育長

問 児童生徒の保護者の方々から、小中一貫校や義務教育学校化への声をお聞きする機会があります。町の考えは。
答 教育長 小中一貫校や義務教育学校化の声が上がっていることですが、現在の小中学校の

児童生徒数は、この10年間に約半減しています。金山小は、複式学級2、単式学級1の3学級、横田小学校は、複式学級1、単式学級1の2学級となっています。中学校も、今後2学級になる年があります。今後の児童生徒

数は、現在より多少増えるぐらいで推移していく状況です。金山町の学校環境の整備を考えると、将来的な見通しをもつて進めることが大変重要であります。ごく少人数の現状を考えると、小中一貫

校や義務教育学校も視野に入れて検討することは必要だと考えております。



町内小中学校の児童生徒数、現在44名
(①金山小学校18名、②横田小学校8名、
③金山中学校18名)

加藤議員からは、この他に「DX化、デジタル化」IT化金山町の取組みは」の質問がありました。



未耕起地が目立つ小規模農地(中川地区)
零細農家が農業を維持していける環境づくりが必要

奥高伸議員の 一般質問



見えないコロナ対策

町民の不安解消に努めるー町長

問 新型コロナウイルス感染症の感染者が11月からまた増加に転じています。県内の感染者の増加も第7波を上回る勢いです。しかし今は、各市町村ごとの感染者数は発表されません。町内においても福祉施設、保育施設、また町民の中にも陽性者の発生が伝えられています。町民に見えない所以の感染者の発生は町民に大きな不安と疑心暗鬼を

抱かせている。町内における発生状況と町のコロナ感染症への対応、対策について伺う。

答 町長 市町村別に陽性者が発表されていた9月26日までの金山町の陽性者総数は66名です。その後発生した公共施設等における陽性者数は、福祉施設では、金山ホームで8月末から9月にかけて入所者12名、職員5名の

17名。社会福祉協議会では、12月に入り職員1名。保育施設は、11月中下旬にかけ、町立保育所でのクラスターが発生し入所児童10名、職員2名、11月26日まで休所とし、11月28日より再開しております。小中学校では、児童生徒の陽性者数は4名で、学級閉鎖などの措置は行っておりません。町職員は、10月以降6名の

感染を確認し、町で把握している陽性者総数は、106名となります。今後の対策ですが、福島県は、第8波の中にあり、新規陽性者数が非常に多い状況が続いております。金山町も、陽性者の確認があります。現在進めているオミクロン株対応のワクチン接種ですが、接種希望者1,240名の接種が12月末まで

に完了予定です。防災無線、かねやま広報やお知らせ版による注意喚起も、福島県の情報等も取入れ実施しています。感染の不安のある方に対しては、薬局で無料の抗原検査キットの配布も行っており今後も、町民の不安を少しでも解消できるよう、注意喚起、対策を実施して参ります。

全ての農家に安心を

関係者と協議を重ねていくー町長

問 町の農業を担ってきた農家の多くは規模は小さく、高齢化の中で離農されていく。特に今年は春先から肥料、農薬等農業資材などが高騰していることもあり、来春には離農を考えている農家も多いと聞く。今でも町内の多くの地域で荒廃した農地が目につく。これ以

上の農地、環境の荒廃は集落崩壊にもつながる。小規模な農家が少しでも長く地域の中で農業、耕作を続けていける環境づくりを支援することが必要と思うが。

答 町長 農業法人と認定農業者で、水稲作付面積106haの約6割に当たる65haを担っている

す。残り4割の約41haの水田を、飯米農家を含む個人151人が耕作をしている状況です。現在の農業者支援策は、農業用機械購入事業や農業経営支援事業などがあり、対象は、農業法人や認定農業者、集落営農組織、団体で個人の農業者は、対象外となっています。

町内の農地は、農業者全体で守られていると認識しており、零細農家が引き続き農業を持続できる施策について、町農業委員会や農業関係者と協議を重ねていきたいと考えています。



■一般国道400号小栗山工区
(坂井地内)の整備促進
■只見川河川整備の早期実施

11月29日～12月1日に衆・参議院議員会館(東京都千代田区永田町)等を訪ね、国会議員等への要望活動を実施しました。(要望内容は次ページ)

国会議員へ要望



▲▼菅家一郎衆議院議員に要望



▲▼小熊慎司衆議院議員に要望



■要望先国会議員
▼衆議院議員

小 熊 慎司氏
菅 家 一 郎氏
亀 岡 偉 民氏
玄 葉 光 一 郎氏
根 本 匠 氏
金 子 恵 美氏
吉 野 正 芳氏
真 山 祐 一氏

▼参議院議員

森 まさこ氏
星 北斗氏
岩 渕 友 氏
佐 藤 正 久氏
若 松 謙 維氏
佐 藤 信 秋氏

■国機関訪問

▼国土交通省

大臣官房技術審議官
奥 田 薫 氏

▼総務省

地域力創造グループ
地域振興室課長補佐
天野純之介氏

■一般国道400号小栗山工区の早期整備の要望

一般国道400号は、茨城県水戸市を起点として本県の南会津町から昭和村、金山町、三島町を経由し、会津西部の一般国道49号へとつながる路線で、当地方の地域開発と産業経済の振興及び災害時の避難や災害支援として大きな役割を持つ重要な道路であり、何より地域住民の大事な生活道路であります。同路線は以前より幅員狭隘にして屈曲部や急こう配の多い舟鼻峠の南会津町田島バイパス、昭和村の舟鼻工区の整備が随時進められており一部改良が完了しております。大変感謝申し上げます。

当金山町内の小栗山工区については今年度工事に着手いたしました。屈曲部、急こう配の区間であり、特に冬期間においては、名だたる豪雪地帯のため通行に支障をきたすことがあります。広域観光の連携や都市との交流などにも障害となっております。

つきましては、地域住民の安全な生活道路確保のため小栗山工区の早期の整備を要望いたします。

工事が着工した坂井地区
(小栗山地内)



■只見川圏域河川整備計画の早期実施の要望

平成23年7月の新潟・福島豪雨災害から11年が経過しました。平成27年3月に只見川圏域河川整備計画の見直しを行い、整備区間を定め、順次、対象区間の整備に着手していただいております。当金山町内の整備箇所は13地区と多く工事完了には多くの年数を要するものと思われます。

つきましては、地域住民の「安全・安心な生活環境確保」のために河川整備事業の対象地区の早期実施と事業促進のための連続した財源の確保に特段のご配慮をお願いいたします。



大規模な岩盤掘削により河道掘削工事が進んでいる中
西部地区(大塩地内)



工事が完了した湯倉地区(本名地内)



▲岩 淵 友参議院議員に要望



▲佐藤信秋参議院議員に要望



▲玄葉光一郎衆議院議員に要望



▲金子恵美衆議院議員に要望



■JR只見線再開通について

国土交通省大臣官房 奥田 薫 技術審議官と面談

- 10月1日JR只見線再開通後の対応について
- ・非常に多くの方に利用していただいている(混雑しており山手線のような)
 - ・今年は計画運休が多く、改善についての要望



■特定地域づくり事業協同組合の現状

総務省地域力創造グループ地域振興室 天野純之介課長補佐と面談

- 令和3年7月開始、県内初の認定組合「奥会津かねやま福業協同組合」の状況報告
- ・現在の派遣社員8名(うち移住者4名)、退職者なし

天野課長補佐より…当組合は全国的に見ても優良な組合である。良好事例としてPRしていく。



■森まさこ内閣総理大臣首相補佐官訪問

現在、内閣総理大臣補佐官(女性活躍担当)の森まさこ参議院議員が勤務されている首相官邸に女性議員の加藤夕子議員、五ノ井義一議長、黒川廣志副議長、奥高伸議員の4名で訪問してきました。



窓 これからの民主主義

「民主主義は最悪の政治形態である。ただし、過去のすべての政治形態を除いては。」これは、第二次世界大戦時から戦後にかけての英国の首相ウィンストン・チャーチルが残した言葉です。しかし現代、民主主義の危機が喧伝されています。イギリスのEU離脱、2016年の米大統領選、2021年米連邦議会乱入事件、そしてロシアによるウクライナ侵攻…。対話や議論が暴力によって封じられ、また、一方に有利になるフェイクニュースが拡散されました。民主主義の根幹がこういった形で脅かされ、専制的であつても決断力と行動力のある強いリーダーがいないと考える国も出てきています。2019年には、民主主義の国・地域は87に減り、非民主主義の国・地域は92に増えた、とするデータもあります。確かに、民主主義は完璧な制度ではなく他の政治制度と比べると少しマシなだけかもしれませんが。だからこそ、事あるごとにより良くしていく努力が必要なのではないでしょうか。

いま私たちは急速に変化する時代の中にいます。これまで以上に個々人の主体性と個性を尊重し、対話を通して効果的に協働し多様性を生かして新しい課題解決をしていく必要があります。

価値観の多様化が叫ばれ誰でも少数派になりえる現代において、対話と議論の価値は相対的に上がっていると感じます。次世代に向け、時には意見の対立を恐れず本音で語り合い、お互いの奥底にあるニーズや価値観の違いに気づき、受容し、きれいだとはなく誰にとっても生きやすい社会を作っていく。これは、私たち現代の大人の責務ではないでしょうか。

当町においても、山積する課題に対して真正面から向き合う姿勢と結果が求められています。金山町の未来のために。原点を忘れずに日々の活動を発展させていきたいと考えています。

(安藤 雅朗)

台北駐日経済文化代表處（東京都港区）訪問

11月30日、中華民国(台湾)の日本における外交の窓口機関であり、実質的に大使館や領事館の役割を果たしている代表處を議員全員で訪問しました。金山町が「日台共栄首長連盟」に加入したことを機に台湾との交流の機会を持てるようにとの思いからの訪問でした。李世丙・駐日副代表と面談し、人口2,300万人のうちコロナ前は年間500万人が日本を訪れていたとの説明を受けました。



李世丙・駐日副代表との集合写真
(四季の只見線写真等贈呈しました)

ごあんない

次回の定例会は、3月10日ごろ開会の予定です。

一般質問は3月13日ごろからとなります。

「開かれた議会」を目指しておりますので、皆様お気軽に傍聴においで下さい。

○役場1階の受付で「傍聴券」を受け取り
4階の議場においで下さい。

次回、金山町議会だより第221号は、5月上旬ごろ発行の予定です	〔発行責任者〕		議長	五ノ井義一
	〔編集委員〕		委員長	黒川 廣志
	副委員長		安藤 雅朗	
	委員		坂内 夕子	加藤 譲